

# 大肥の郷まちづくり将来ビジョン

～日田彦山線沿線地域の振興に向けて～

2022年10月

笑顔ですごせる  
やさしいまち  
大肥の郷



大肥の郷まちづくり会議

## 目次

1. はじめに～ビジョン策定の経緯～	1
2. 地域の概要（位置、人口、世帯数）	2
3. 復旧会議での合意事項	4
4. 日田彦山線の復旧方策	5
5. 大肥の郷まちづくり将来ビジョン	6
i 基本理念	
ii 地域の将来像	
iii 3つの重点プロジェクト	
iv 本ビジョンの役割	
v スケジュール	
vi 大肥の郷まちづくり会議委員	
vii 今後の取組	
6. 検討の経過	11
7. アンケート結果（抜粋）	26

## 1. はじめに～ビジョン策定の経緯～

大鶴・夜明地区は、福岡県との県境に位置し、福岡県朝倉市や東峰村と隣接する人口2千人ほどの地域です。

平成29年7月5日から6日にかけて発生した九州北部豪雨により、彦山川沿いを走る添田駅以南で甚大な被害を受けました。日田市では大鶴地区及び夜明地区で、河川の越水による集落への浸水や護岸の決壊による家屋損壊、さらに山腹崩壊による土砂流木の流出は、道路・河川被害の拡大に大きく影響するとともに、JR九州の日田彦山線の添田～夜明間で63箇所にも及ぶ被害の大きな原因となりました。地域のシンボルの一つであった日田彦山線の鉄道による復旧を望んでおりましたが、かなわなかったことに地域は喪失感を抱いており、苦渋の決断ではありますがBRTでの復旧を受け入れざるを得ませんでした。

災害による甚大な被害からの復興を図る中で、JR日田彦山線における被災後の復旧方法が、令和2年7月、BRTによる復旧に決定したことを契機に、両地区の住民等が力を合わせ、暮らしを守り人が元気になるまちづくりのデザインを検討し、地域の発展を目指していくことを目的とする「大肥の郷まちづくり会議」が発足しました。

「大肥の郷まちづくり会議」では、災害からの復旧・復興に向けて地域の目指す将来像を示した「大肥の郷まちづくり将来ビジョン」を策定するため、活動を行ってきました。

これまでの活動内容としては、全体会や役員会の開催をはじめ、これからのまちづくりへの取組などを検討するワーキンググループ会議の開催、大鶴・夜明地区のまちづくりに関する住民アンケートの実施、大明中学校全校生徒とのまちづくりに関する意見交換会の開催、取組内容を地域の皆さんにお知らせする大肥の郷まちづくり会議通信の発行などを行ってきました。

以上のような活動を経て、「大肥の郷まちづくり将来ビジョン」を令和4年10月に策定いたしました。

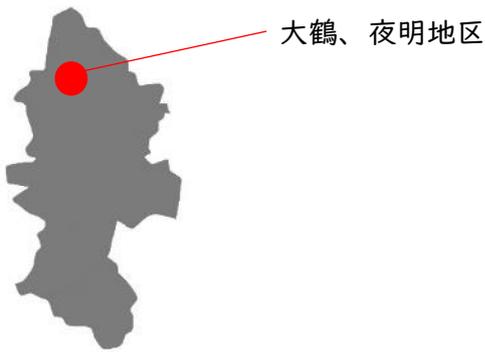
このビジョンに示した取組を推進し、災害からの復旧・復興そして日田彦山線沿線地域の活性化に取り組んでまいります。

大肥の郷まちづくり会議

会長 梶原 孝俊



## 2.地域の概要(位置、人口、世帯数)



### 大鶴地区

大鶴地区は日田市の西北で福岡県との県境にあり、東は小野・三花地区及び朝日地区に、西及び北は福岡県朝倉市と東峰村と隣接し、西・北・東を畔倉山（あぜくらやま 470.7m）上宮山（じょうぐうざん 644.8m）・田代山（たしろやま 342.7m）などの英彦山の支脈の山野で包まれた

東西 6.3km、南北 12.9km の細長い山間の地です。地区の中を鶴河内川と大肥川が流れており、大手酒造会社を 2 社も有するように清浄な水に恵まれ、地味肥沃で農耕に適した地域です。また、平安時代に相撲の神様とまで云われた日田郡司職を務めた日田殿（ひたどん）こと大蔵永季のお墓をはじめ、大正期から昭和期にわたって日本銀行総裁および大蔵大臣を歴任した井上準之助の生家など歴史的に興味深い場所も多く残っています。また、天満宮老松社や下河内天満宮など寺社・仏閣が多数存在する地域です。

現在は、7 自治会（鶴城町、上宮町、鶴河内町、大鶴本町、大鶴町、大肥本町、大肥町）で構成され、人口 1,196 人、世帯 511 世帯、高齢率 51.84%（2022. 3. 31）となっています。

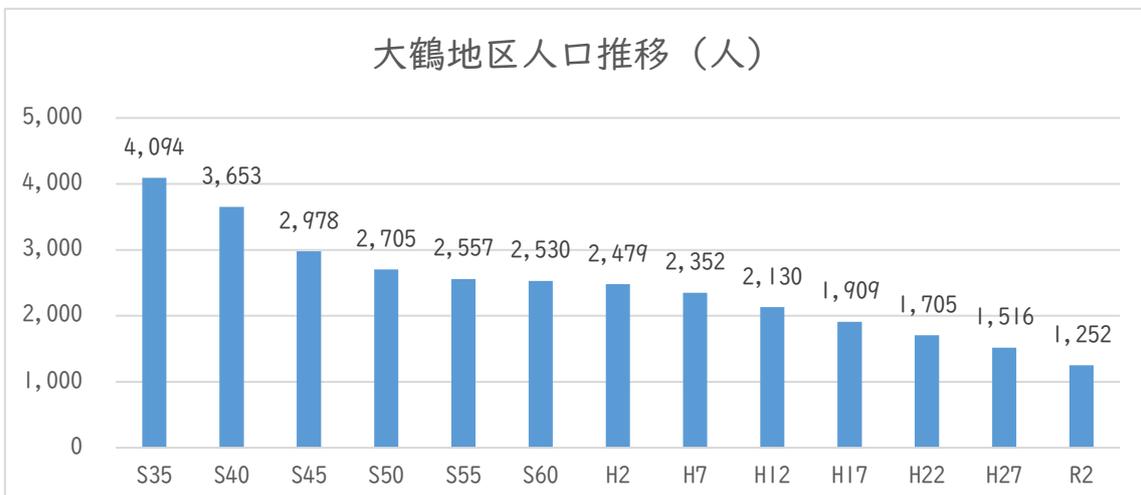
### 夜明地区

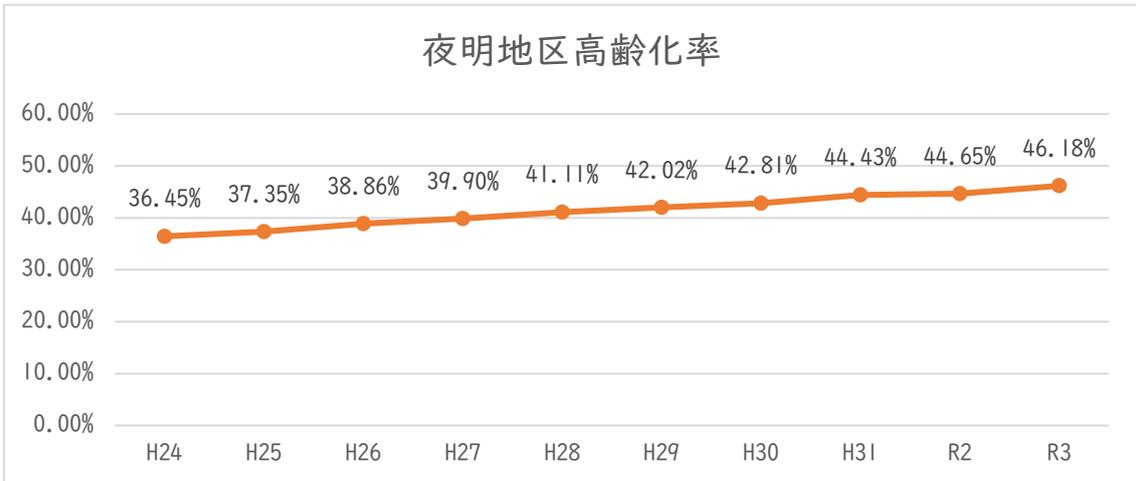
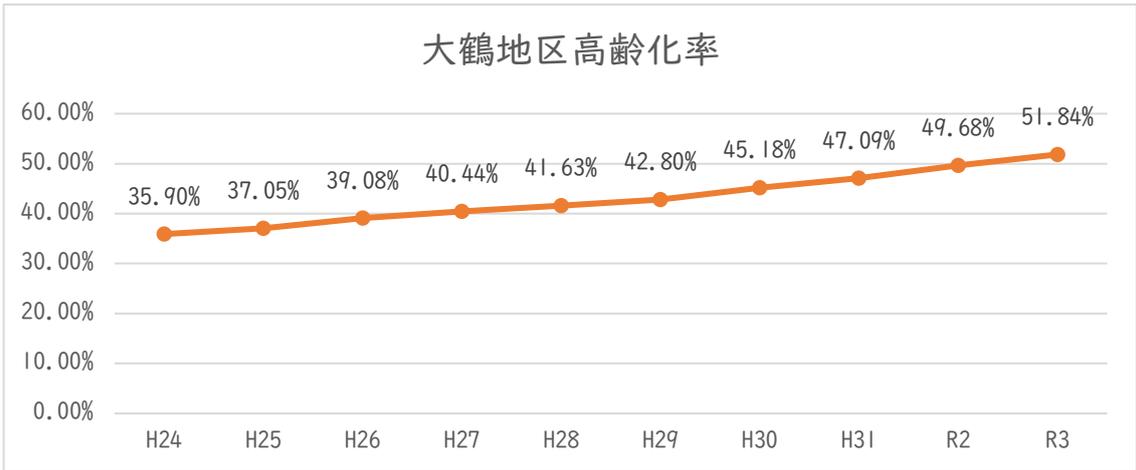
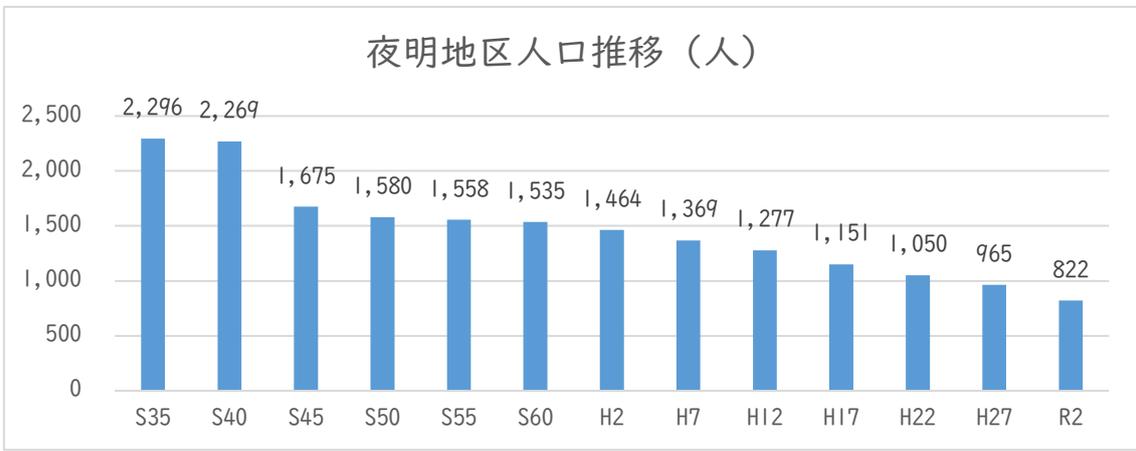
夜明地区は日田市の最西部に位置し、福岡県朝倉市、うきは市に隣接しています。

夜明地区の中には夜明のシンボルマークにもなり、学校の遠足やハイキングにも利用されてきた三日月山があり、その展望台から東は由布岳、北は英彦山、西は久留米市役所まで一望できます。

また、国指定重要文化財である「行徳家住宅」があり、住宅の中には代々伝わる医療用具などが展示されています。夜明駅には夜明の鐘や幸せのテーブルがあり、地区のみなさんで協力して植えた 300 本もの桜の木が地区のきれいな景観を作っています。

この地区は日田市の特産である梨の産地でもあり、夜明上町・夜明中町・夜明関町の 3 つの自治会で構成され、人口 786 人、世帯 338 世帯、高齢化率 46.18%（2022. 3. 31）となっています。





大鶴地区、夜明地区ともに年々人口は減少しており、高齢化率も大鶴地区は50%を超えるなど日田市全体の高齢化率と比べると高い数字になっており、高齢化が進んでいる状況にあります。夜明地区は50%を超えていないものの、年々高齢化率が高くなっています。

さらに、平成29年7月の九州北部豪雨により、家屋をはじめ、田畑や道路に甚大な被害を受け、地域のシンボルの一つであった日田彦山線の鉄道による復旧がかなわなかったことに地域は喪失感を抱いています。

このままでは、地域の活力が低下し、衰退が加速の一途を辿ることとなり、地域の維持や活力の創出が課題となっています。

### 3.復旧会議での合意事項

J R日田彦山線（添田駅～夜明駅）の復旧方策については、平成30年4月4日の「第1回日田彦山線復旧会議」を始めとして、これまでに「日田彦山線復旧会議検討会」を計4回、「日田彦山線復旧会議」を計6回開催し議論を行ってきました。

議論の結果、令和2年7月16日開催の「第6回日田彦山線復旧会議」において、関係自治体（福岡県・大分県・東峰村・添田町・日田市）とJ R九州の間で、彦山駅から宝珠山駅間を専用道とするB R T（バス高速輸送システム）で復旧することに合意しました。

令和2年7月16日  
日田彦山線復旧会議

#### 合 意 事 項

##### 【復旧方針について】

1. J R日田彦山線（添田駅～夜明駅間）については、彦山駅から宝珠山駅間を専用道区間とするB R T（バス高速輸送システム）で復旧する。
2. 復旧に要する費用は、J R九州の負担とする。  
被災した福井橋梁、平迫橋梁については、福岡県が行う事業の中で架け替えることとし、別途協定を締結するものとする。
3. 本合意をもって、J R九州は復旧工事に着手し、早期の復旧を目指すとともに、停留所の設置等、工事完了前に提供可能なサービスについては、随時実施するものとする。

##### 【継続的な運行の確保について】

1. J R九州は、B R Tを持続可能な交通手段として、将来に亘り維持すべく責任をもって安全に運行するものとし、利用者の声に耳を傾け利便性の向上に努めるものとする。
2. 福岡県、大分県、東峰村、添田町、日田市は、J R九州と連携してB R Tが持続可能な交通手段として維持されるよう、沿線住民に対する二次交通の充実を図るほか、観光振興や利用促進に努めるとともに、域外からの利用者の増加にも努めるものとする。

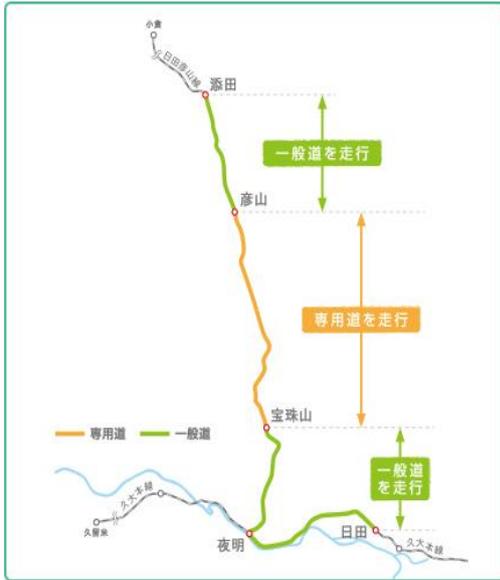
##### 【今後の進め方について】

本合意事項を達成するために、J R九州、福岡県、大分県、東峰村、添田町、日田市は、必要に応じ、B R Tの運行や運営についての具体的な諸課題を協議するものとする。

#### 4.日田彦山線の復旧方策

BRTとは、バス・ラピッド・トランジット (Bus Rapid Transit) の略で、PTPS (公共車両優先システム)、接続バス、バス専用道、バスレーン等を組み合わせることで、速達性・定時性の確保や輸送能力の増大が可能となる高次の機能を備えたバスシステムです。

2023年夏に開業予定で、日田彦山線BRT (愛称：BRT ひこぼしライン) では彦山駅から宝珠山駅までは専用道を、大鶴～夜明、そして日田駅までは一般道を走ります。



※ J R九州ホームページから引用



一般道を走る BRT (イメージ)



※ J R九州ホームページから引用

## 5.大肥の郷まちづくり将来ビジョン

### i 基本理念 「笑顔で過ごせるやさしいまち 大肥の郷」

令和4年5月18日に開催した大肥の郷まちづくり会議第5回委員会にて、基本理念を「笑顔で過ごせるやさしいまち 大肥の郷」に決定しました。この理念のもとに3つの重点プロジェクトを推進していきます。

### ii 地域の将来像

大鶴・夜明地区は、豊かな自然や美しい景観、史跡など魅力的な地域資源を有しています。

これらの資源を活用し次世代へ継承していくことで、住民が地域により愛着を持ち、子どもから高齢者まで安心して暮らしていける、笑顔で過ごしていけるまちを目指していきます。

また、外部からの移住者を呼び込み地域の活力を維持するため、地域資源に磨きをかけるなど、移住したくなるような環境づくりを行っていきます。

### iii 3つの重点プロジェクト

#### ①地域の資源を活かした地域振興

#### ②日田彦山線沿線の美しい景観を活かした地域振興

#### ③安心して暮らせる地域づくり

将来ビジョンを推進するうえで、上記の3つの重点プロジェクトを掲げ、それぞれワーキンググループ会議を開催し、課題や取組について話し合いを行いました。

それぞれの重点プロジェクトについて、方向性と主な取組を策定し、これから地域の活性化に向けて活かしていきます。

また、ハード整備の取組については大分県や日田市の協力が必要であることから、地域と行政が協力し一緒に取組を行っていきます。

### iv 本ビジョンの役割

「大肥の郷まちづくり将来ビジョン」は、大鶴・夜明地区が中心となって取り組むことを示したもので、住民、関係団体、行政等との協働による地域づくりの方向性を共有するものです。これからの地域づくりのため、本ビジョンを活用します。

### v スケジュール

2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)	2025 (R7)	2026 (R8)	2027 (R9)
	地域資源を活かした地域振興				
	日田彦山線沿線の美しい景観を活かした地域振興				
	安心して暮らせる地域づくり				

vi 大肥の郷まちづくり会議委員

番号	団体名・職名等	地区等	委員/オブザーバー
1	大鶴振興協議会長	大鶴	委員
2	大鶴まちづくり協議会長	大鶴	委員
3	鶴河内町自治会長	大鶴	委員
4	鶴城町自治会長	大鶴	委員
5	上宮町自治会長	大鶴	委員
6	大鶴本町自治会長	大鶴	委員
7	大肥町自治会長	大鶴	委員
8	大肥本町自治会長	大鶴	委員
9	大鶴町自治会長	大鶴	委員
10	大肥町住民	大鶴	委員
11	静修紫雲台代表	大鶴	委員
12	地域おこし協力隊経験者	大鶴	委員
13	夜明上町自治会長	夜明	委員
14	夜明中町自治会長	夜明	委員
15	夜明振興協議会長（夜明まちづくり運営 委員会会長、夜明関町自治会長）	夜明	委員
16	夜明上町住民	夜明	委員
17	夜明上町住民	夜明	委員
18	夜明中町住民	夜明	委員
19	夜明関町住民	夜明	委員
20	夜明関町住民	夜明	委員
21	大鶴地区集落支援員	大鶴	オブザーバー
22	大鶴地区地域おこし協力隊員	大鶴	オブザーバー
23	夜明地区集落支援員	夜明	オブザーバー
24	大明タクシー有限会社	大鶴夜明	オブザーバー
25	農事組合法人大肥郷ふるさと農業振興会	大鶴夜明	オブザーバー
26	大分県西部振興局		オブザーバー
27	日田市大鶴振興センター長		事務局
28	日田市夜明振興センター長		
29	日田市まちづくり推進課長		

vii 今後の取組

**重点プロジェクト**

① **地域の資源を活かした地域振興**

☆ワーキンググループ会議での意見

～地域の良いところ、すきなところ、資源と思うもの～

- ・野菜も野草もおいしく育つ。美味しい野菜で乾燥野菜を作る。
- ・大肥川の桜並木がとてもきれい                      ・野菜や梨のブランド化
- ・大蔵大臣 井上準之助の生誕地、行徳家
- ・地下水（飲み水）、井戸水、上宮町の湧水など水が豊かでおいしい
- ・酒造所が2か所もある
- ・上宮町の蛍がきれい、上宮町の棚田の景色が良い
- ・日田どんの墓、雪舟の池など史跡が多い
- ・三日月山展望台の見晴らしが良い                      ・夜明の鐘
- ・ウォーキングに適した地域                                      ・星がきれい
- ・夜明駅の写真スポット    ・人の温かさ



▲上宮町の湧水



▲日田どんの墓



《意見をまとめたキーワード》

- ▶地域の歴史の伝承
- ▶四季を通じた景観の活用
- ▶水や人、魅力的な地域資源の活用



▲夜明関町からの夕焼け



▲大肥川沿いの桜並木

方向性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の資源である「水」の恵みを魅力として、「水」を活かした取組を展開する。</li> <li>・地域の歴史、雄大な自然・景観を活かした観光や交流、体験等の場を創出する。</li> </ul>
主な取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>・史跡などをはじめとした地域資源を磨き上げる取組</li> <li>・雄大な自然景観を活かしたウォーキングや体験交流ツアーなどの取組</li> <li>・地域の「おいしい水」を活用する方策の検討</li> <li>・地域の昔から伝わる祭りや行事等を次世代へ継承する取組</li> <li>・人を呼び込むための景観づくりと情報発信</li> <li>・地域の交流拠点における環境整備</li> <li>・農産物や加工品を活用した産業振興の取組</li> </ul>

## 重点プロジェクト

### ②日田彦山線沿線の美しい景観を活かした地域振興

☆ワーキンググループ会議での意見

～旧大鶴駅、旧今山駅、夜明駅周辺をこういうふうに整備したい、活用したい～

- ・ 駅を集いの場所とする
- ・ 旧大鶴駅を利用した公園づくり
- ・ 親子で遊べる広場
- ・ 沿線を四季の花で埋める
- ・ 土・日曜日にマルシェをひらく
- ・ 木を残し花木を植え広場を作る
- ・ 駅舎の民間活用
- ・ 防災設備、今山公民館付近
- ・ 駅周辺に果物を作り果物狩りをする
- ・ 夜明B B Q村、ももはみそ作り体験
- ・ 中学生の意見を反映させたい、実現させたい
- ・ 駅周辺にモニュメント設置



▲旧今山駅のホーム



▲旧大鶴駅のホーム



▲夜明駅のホーム



《意見をまとめたキーワード》

- ▶沿線の美しい景観を後世へつなぐ
- ▶人が集まる憩いの拠点づくり
- ▶BRT の利用促進

方向性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 地域とともに歩んできた日田彦山線の記憶を受け継いでいくとともに、旧駅舎については地域の人々の集う拠点となるよう整備、維持する。</li> <li>・ BRTが運行する沿線において、外部から人が集まる拠点を整備することで地域の交流の活性化をはかる。</li> </ul>
主な取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 旧大鶴駅及び旧今山駅周辺を地域の交流拠点及び災害の記憶を次世代につなぐための整備</li> <li>・ 夜明駅利用者の利便性を高めるための整備</li> <li>・ 日田彦山線沿線の美しい景観づくり</li> <li>・ 地域内外から BRT の利用促進をするための取組</li> </ul>

## 重点プロジェクト

### ③安心して暮らせる地域づくり

☆ワーキンググループ会議での意見

～困っていること、不便なことなど地域の課題～

- ・市内まで遠い（買い物、病院）
- ・山間部の道幅の整備、道路の幅が狭いので危険
- ・鳥獣被害対策
- ・大雨の時危ない（子供たち）
- ・1人暮らしの方のサポート、独居老人
- ・高齢者が多くなり若者がいない
- ・空き家が多い、もっと活用できたらよい
- ・デマンドタクシーとかももっと気軽に頼めないか？  
当日でもOKにならないか？
- ・交通インフラ整備
- ・車がないと生活が困難になる
- ・子供が希望持てる地域



《意見をまとめたキーワード》

- ▶移住定住の促進
- ▶インフラ（交通、道路、水路）の整備
- ▶見守り・助け合いのしくみづくり
- ▶災害の記憶の伝承と、防災力の強化

<p>方向性</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人口減少や高齢化が進んでおり、人口減少を緩和するためには、外から人を呼び込むための移住施策が必要である。</li> <li>・空き家は増える傾向にあるため、空き家の把握や活用を促し、住みたい人・借りたい人へ情報をつなぐことで、地域への移住者を呼び込むきっかけとする。</li> <li>・高齢化が進むことにより、独居老人の増加や近隣住民とのコミュニケーションが希薄になることなどが懸念されるため、地域で見守り体制の検討等を行う。</li> <li>・安心して暮らしていくため、道路や水路などを整備し地域の安全を確保する。</li> <li>・災害の記憶を後世に伝えながら、防災力の強化を図る。</li> <li>・BRTの開業により新たな交通手段が増えることから、既存の公共交通（デマンドタクシー、福祉バス）と合わせて利用の促進を行う。</li> </ul>
<p>主な取組</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・移住したくなるような環境づくり</li> <li>・空き家対策の取組</li> <li>・病院、買物の移動手段の確保についての検討</li> <li>・独居老人の安否確認の体制づくり、見守り体制の組織づくり</li> <li>・災害に備えた地区ごとの防災訓練・災害の記憶を後世へ伝えていくため、災害時の映像やボランティアの経験談の記録などの防災事業の取組</li> <li>・道路や水路等を整備し、安心して暮らせる地域づくり</li> <li>・雇用の場づくりの検討</li> </ul>

## 6.検討の経過

○令和3年度第1回ワーキンググループ会議（令和3年6月30日開催）

令和3年6月30日（水）に大鶴地区、夜明地区それぞれで会議を開催し、大鶴・夜明地区のまちづくり将来ビジョンについて市長との意見交換会を行いました。

○令和3年度第2回ワーキンググループ会議（令和3年7月29日、8月3日開催）

令和3年7月29日（木）と8月3日（火）に大鶴地区、夜明地区それぞれで会議を開催し、大鶴・夜明地区のまちづくり将来ビジョンについて市長との意見交換会を行いました。



○令和3年度第3回ワーキンググループ会議（令和3年9月15日、9月27日開催）

令和3年9月15日（水）と9月27日（月）に大鶴地区、夜明地区それぞれで会議を開催し、駅跡地の利活用について意見交換会を行いました。

○大明中学校生徒とのまちづくりに関する意見交換会（グループワーク）（令和3年11月5日、11月11日開催）

令和3年11月5日（金）と11月11日（木）に「おとな先生」とのコラボレーション企画で、大明中学校全校生徒と大肥の郷まちづくり会議のメンバーとで「みんなで地域の復興デザインを考える～まちをデザインしてみよう～」をテーマに意見交換会を開催しました。



○令和4年度第1回ワーキンググループ会議（令和4年6月22日、29日開催）

令和4年6月22日（水）と6月29日（水）に大鶴地区、夜明地区それぞれで会議を開催し、①地域の資源を活かした地域振興 ②日田彦山線の美しい景観を活かした地域振興 ③安心して暮らせる地域づくりの3つのグループに分かれて意見を出し合いました。



○令和4年度第2回ワーキンググループ会議（令和4年8月24日、30日開催）

令和4年8月24日（水）、30日（火）に大鶴地区、夜明地区それぞれで会議を開催し、3つの重点プロジェクトに対する「主な取組」について話し合い、空き家について市の担当部署から話を聞くなどしました。



○令和4年度第3回ワーキンググループ会議（令和4年10月18日、19日開催）

令和4年10月18日（火）、19日（水）に大鶴地区、夜明地区それぞれで会議を開催し、3つの重点プロジェクトに対する「主な取組」について最終的な案の確認と今後の事業の進め方について話し合いました。



大肥の郷まちづくり会議 開催状況

開催年度	開催回数		開催日時	会議種別	内容	
	通算	年度別				
令和2年度	1	1	R3.2.19	全体会①	会議規約の承認、役員選出	
	2	2	R3.3.12	全体会②	グリーンスローモビリティの活用について①	
	3	3	R3.3.30	全体会③	グリーンスローモビリティの活用について②	
令和3年度			R3.4.28	全体会④	コロナ感染防止のため中止	
	4	1	R3.6.1	役員会①	・今後の会議の進め方について（WG会議の導入） ・まちづくり将来ビジョンについて	
	5	2	R3.6.30	大鶴WG①	市長との意見交換会①	
	6	3	R3.6.30	夜明WG①	市長との意見交換会①	
	7	4	R3.7.29	大鶴WG②	市長との意見交換会②	
	8	5	R3.8.3	夜明WG②	市長との意見交換会②	
	9	6	R3.8.6	役員会②	・第1回及び第2回WGの協議内容について ・まちづくり会議の住民周知方法について ・住民アンケートについて ・大明中学校との意見交換会について	
	10	7	R3.9.15	大鶴WG③	線路跡地及び駅周辺の利活用について	
	11	8	R3.9.27	夜明WG③	線路跡地及び駅周辺の利活用について	
	12	9	R3.10.7	役員会③	・第3回WGの協議内容について ※役員会の結果、線路跡地のルールは不要との意見でまとまる。	
	13	10	R3.11.5		大明中学校全校生徒との意見交換会（おとな先生とのコラボ）①	
	14	11	R3.11.11		大明中学校全校生徒との意見交換会（おとな先生とのコラボ）②	
	15	12	R4.2.3	役員会④	・10月実施のまちづくりに関する住民アンケートの結果について ・まちづくり会議通信の発行について ・まちづくり将来ビジョン及びアクションプランの作成について ・次年度以降のまちづくり会議メンバーについて	
	令和4年度	16	1	R4.5.18	全体会⑤	R3年度事業報告、R4予算案、今後の方向性等について
		17	2	R4.6.22	大鶴WG①	大肥の郷まちづくり将来ビジョン（案）の策定について
18		3	R4.6.29	夜明WG①	大肥の郷まちづくり将来ビジョン（案）の策定について	
19		4	R4.7.26		今後の地域振興策の方向性について	
20		5	R4.8.24	大鶴WG②	大肥の郷まちづくり将来ビジョン（案）の策定について	

	21	6	R4.8.30	夜明WG②	大肥の郷まちづくり将来ビジョン（案）の策定について
	22	7	R4.9.13	全体会⑥	夜明駅、旧今山駅、旧大鶴駅周辺の整備について
	23	8	R4.10.18	大鶴WG③	大肥の郷まちづくり将来ビジョン（案）の策定について
	24	9	R4.10.19	夜明WG③	大肥の郷まちづくり将来ビジョン（案）の策定について
	25	10	R4.10.26	全体会⑦	大肥の郷まちづくり将来ビジョン（案）の策定について

## ◎大肥の郷まちづくり会議通信

大肥の郷まちづくり会議の取組を大鶴・夜明地区住民の皆さんに伝え、また、皆さんから多くの意見をいただくことを目的に、「大肥の郷まちづくり会議通信」を発行しました。通信はこれまで6号発行し、地区内全世帯に配布しました。

# おおひ さと 大肥の郷まちづくり会議通信 No. 1

R3.9.17

## ★大肥の郷まちづくり会議とは・・・？

会議規約の一部を抜粋してご紹介します。

### 大肥の郷まちづくり会議規約（一部抜粋）

#### （目的）

第2条 本会は、平成29年九州北部豪雨災害により被災した日田市大鶴地区及び夜明地区の復興を図るため、J R日田彦山線における被災後の復旧方法が、令和2年7月、B R Tによる復旧に決定したことを契機に、**両地区の住民等が力を合わせ、暮らしを守り人が元気になるまちづくりのデザインを検討し、地域の発展を目指していくことを目的とする。**

#### （活動）

第3条 本会は、前条の目的を達成するため、次の活動を行うことができる。

- (1) J R日田彦山線の線路跡地の利用に関する事
- (2) 大鶴駅・今山駅・夜明駅の活用に関する事
- (3) グリーンスローモビリティの活用に関する事
- (4) 地域資源を活用した地域活性化への取組に関する事
- (5) その他本会が目的を達成するために必要な活動に関する事

#### （会員）

第4条 本会の会員は、日田市大鶴地区及び夜明地区に在住する者並びに本会の目的に賛同する者をもって構成する。

令和3年2月、大鶴・夜明地区のこれからのまちづくりを考える「大肥の郷まちづくり会議」が設立されました。会議では、大鶴・夜明地区の振興協議会や自治会の代表、集落支援員、地域おこし協力隊員などがメンバーとなり、地域の暮らしを守り、人が元気になるためのまちづくりについて、現在、話し合いを行っています。  
これから、この「大肥の郷まちづくり会議通信」で、会議の内容や地域内で新しく始まる取組などを随時お知らせしていきます。

## ★まちづくり会議の様子

これまで全体会を3回開催し、令和3年度からは、大鶴・夜明各地区それぞれでワーキンググループ会議を実施しています。



7/29 大鶴地区第2回ワーキンググループ



8/3 夜明地区第2回ワーキンググループ

## ★まちづくり会議のメンバーは・・・？

番号	団体名・職名等	地区等
1	大鶴振興協議会長	大鶴
2	大鶴まちづくり協議会長	大鶴
3	大肥本町自治会長	大鶴
4	鶴河内町自治会長	大鶴
5	大肥町住民代表	大鶴
6	静修紫雲台代表	大鶴
7	地域おこし協力隊経験者	大鶴
8	夜明振興協議会長 (夜明上町自治会長)	夜明
9	夜明中町自治会長	夜明
10	夜明関町自治会長 (夜明まちづくり運営委員長)	夜明
11	夜明上町住民代表	夜明
12	夜明上町住民代表	夜明
13	夜明上町住民代表	夜明
14	夜明中町住民代表	夜明
15	夜明中町住民代表	夜明
16	夜明中町住民代表	夜明
17	夜明関町住民代表	夜明
18	夜明関町住民代表	夜明
19	大鶴地区集落支援員	大鶴
20	大鶴地区地域おこし協力隊員	大鶴
21	夜明地区集落支援員	夜明
22	農事組合法人大肥郷ふるさと農業振興会	大鶴夜明
23	大明タクシー株式会社	大鶴夜明
24	大分県西部振興局	
25	日田市大鶴振興センター長	
26	日田市夜明振興センター長	
27	日田市まちづくり推進課長	事務局

※令和3年9月15日現在のメンバーです。

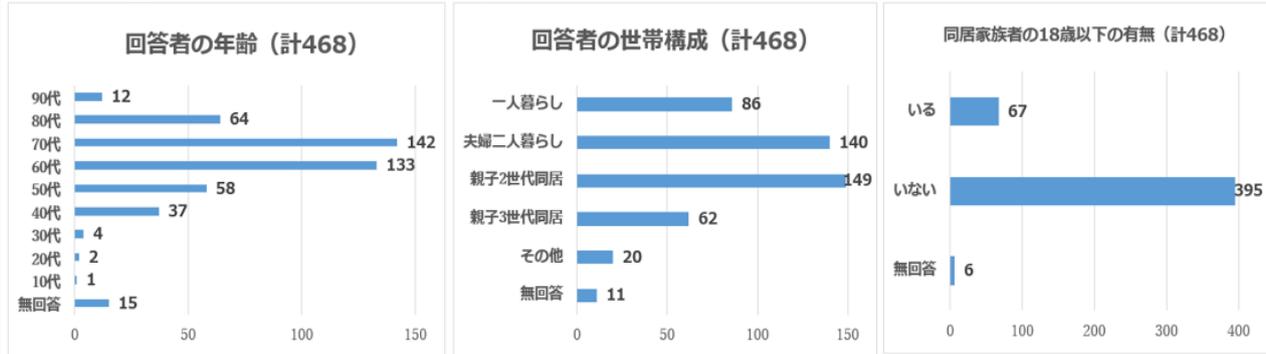
**★お知らせ★** 大肥の郷まちづくり会議では、大鶴・夜明地区住民の皆さまから、地域のまちづくりに関して多くの意見をいただきたく、今回「まちづくりに関するアンケート」を実施します。皆さまのご協力、よろしく願いいたします。**※アンケートは、10月中旬から下旬にかけて、自治会を通じて回収させていただきます。**

大鶴・夜明地区のこれからのまちづくりを考える「大肥の郷まちづくり会議」では、住民の皆様からまちづくりに関する多くの意見をいただくため、令和3年10月、大鶴・夜明地区の全世帯を対象に「まちづくりに関するアンケート」を実施しました。今号では、このアンケートの集計結果について、一部抜粋してお知らせします。

★大鶴・夜明地区 「まちづくりに関するアンケート」 集計結果★

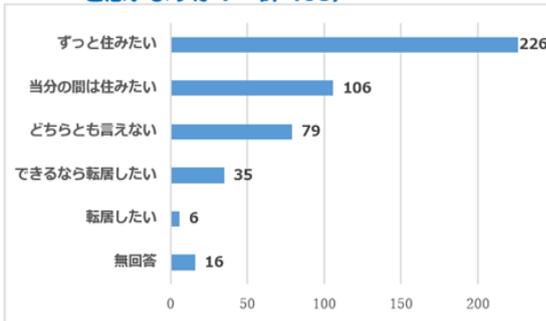
- 実施期間：令和3年10月1日～31日（広報ひた10月1日号に同封してアンケートを配布）
- 調査対象：大鶴・夜明地区全世帯 大鶴526世帯 夜明322世帯 計848世帯（R4.10.1現在）
- 回収率：55.2%（配布数848 回収数468）
- 回収率(地区別)：大鶴53.8%（配布数526 回収数283） 夜明57.5%（配布数322 回収数185）

【問1】あなた自身と、世帯について教えてください



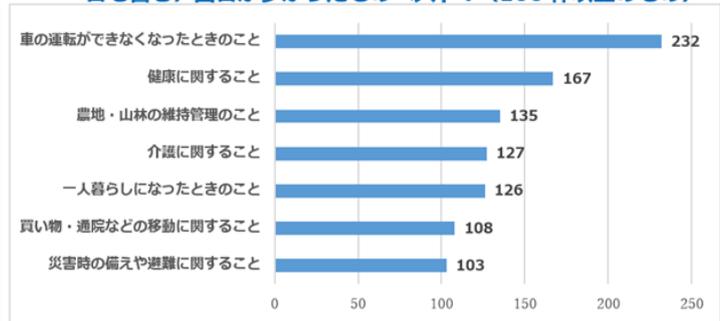
- ・60代以上が回答者の75%を占める。10代～30代の回答者はわずか7名(1.5%)。
- ・世帯構成は『一人暮らし』又は『夫婦二人暮らし』が約半数を占める。一方、『親子3世代同居』も62世帯(13.2%)存在する。
- ・同居家族に18歳以下がいる世帯は67世帯と少なく、18歳以下がいない世帯は395世帯(84.4%)と非常に多い。

【問2】あなたは、お住いの地域をどう感じていますか？（今後も、今お住いの地域に住み続けたいと思いますか？ 計468）



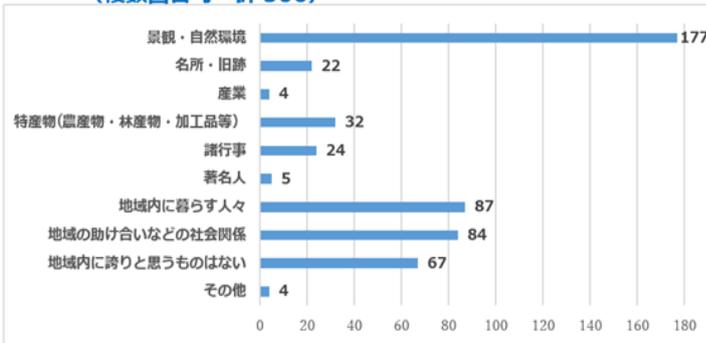
- ・住みたいと思う人が332人(70.9%)と多くを占めるが、それ以外の人も3割近く存在する。

【問3】あなたが生活するうえで、不安に感じていること、困っていることを教えてください（複数回答可 計1,334 下記以外の回答も含む）回答が多かったものベスト7（100件以上のもの）



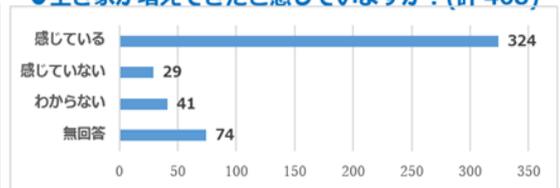
- ・『車の運転ができなくなったときのこと』が232件(17.4%)と最も多い。また、健康・介護に関することはもちろんのこと、農地・山林の維持管理のこと、災害時の備えや避難に関することについて、不安を感じる人も多い。

【問4】地域・集落内であなたが誇りに思っているものは何ですか？（複数回答可 計506）

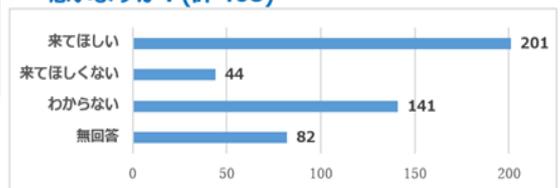


- ・『景観・自然環境』が177件(35.0%)と最も多い。その他特に多いものは、『地域内に暮らす人々』『地域内の助け合いなどの社会関係』などである。一方で、『地域内に誇りと思うものはない』という意見も67件(13.2%)存在する。

【問5】空き家についてお尋ねします  
●空き家が増えてきたと感じていますか？(計468)



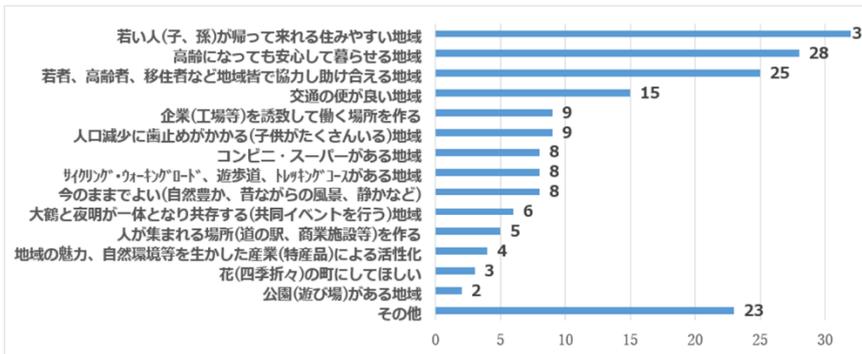
●空き家に地域以外の人に移住してきてほしいと思いますか？(計468)



- ・約7割近くの方は空き家が増えてきたと感じている。また、約4割の人が空き家に地域以外の方に移住してきてほしいと感じているが、来てほしくない人も1割近く存在する。

裏面はアンケート問6～10の内容です→

【問6】あなたは、大鶴・夜明地区を将来どんな地域にしたいですか？（計 185）

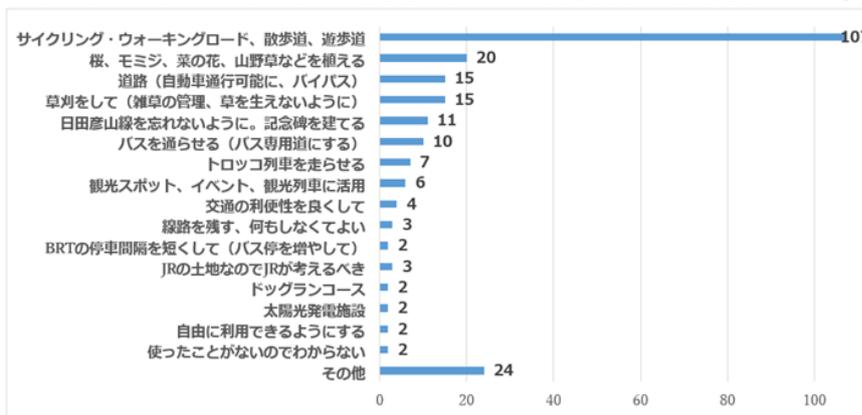


【その他の意見（一部抜粋）】

- 通過点ではなく目的地にしたい。
- 観光も大切だがプライバシーも大切。農業や酪農や林業を観光に取り入れて、体験施設の場所や指導者の育成。中途半端じゃなくて持続してもらいたい。
- 空き家を古民家として利用。
- 何を願っても無駄かもしれないがせめてフラットにして除草しなくていいようにコンクリートで固めてほしい。

・『若い人(子、孫)が帰って来れる住みやすい地域』が32件(17.3%)と最も多く、そのほかは『高齢になっても安心して暮らせる地域』『若者・高齢者・移住者など地域皆で協力し助け合える地域』『交通の便が良い地域』『企業(工場等)を誘致して働く場所を作る』『人口減少に歯止めがかかる(子供がたくさんいる)地域』などについて意見が多い。

【問7】JR日田彦山線の線路跡地をどのように活用したら良いと考えますか？（計 236）



【その他の意見（一部抜粋）】

- JRの土地を活用する上でランニングコストがかかるのであれば当地には不要。JRは自社の不動産管理の面から水害対策、雑草対策等手を抜かずやっていただきたい。
- 災害時の物流運搬路
- 踏切に段があり車で通行するときに悪いため早く撤去してほしい。踏切周辺が道幅が狭く、歩行者と車が離合するとき危険なため、道幅を広げてほしい。
- 管理が容易で将来の負担にならない形
- 昔の人達が苦労して作った鉄道を水害のために簡単に止めていいものか。線路もつながらないのに日田彦山線と言ってほしくない。

・『サイクリング・ウォーキングロード、散歩道、遊歩道』が107件(45.3%)と最も多く、意見の約半数を占める。そのほかは『桜、モミジ、菜の花、山野草などを植える』『道路(自動車通行可能に、バイク)』『草刈をして(雑草の管理、草を生えないように)』『日田彦山線を忘れないように。記念碑を建てる』などについて意見が多い。

【問8】大鶴駅周辺を今後どのように整備したら良いと考えますか？（計 165） 回答が多かった意見ベスト5

- ① 公園、広場 (27)
- ② 休憩所(トイレ)、憩いの場(たまり場) (20)
- ③ カフェ、喫茶店 (13)
- ④ コンビニ/展示館、資料館、メモリアルモニュメント (10)
- ⑤ 道の駅(特産物広場)/イベント(お祭り、出店、催し)ができる場所/交通(道路)の利便性を良くする (7)

【その他の意見（一部抜粋）】

- 駅舎を保存、住宅(公営住宅)、パン屋、温泉・入浴施設
- サイクリング・ウォーキングコースの拠点
- コインランドリー、居酒屋、大鶴駅への看板(サイン)を設置
- ドッグラン、災害時の物流保管庫
- サラ地で草が生えないようにしてほしい

【問9】今山駅周辺を今後どのように整備したら良いと考えますか？（計 88） 回答が多かった意見ベスト5

- ① 公園、広場 (16)
- ② 交通(道路)の利便性を良くする (8)
- ③ 休憩所(トイレ)、憩いの場(たまり場) (7)
- ④ 桜やモミジの木を植える、花いっぱいにする (6)
- ⑤ 展示館、資料館、メモリアルモニュメント/(イベント(お祭り、出店、催し)ができる場所) (3)

【その他の意見（一部抜粋）】

- カフェ・喫茶店、道の駅(特産物広場)
- 踏切がガタガタなので良くしてほしい、住宅(公営住宅)
- 温泉・入浴施設、散歩道、線路・ホームを保存
- 観光スポット、サイクリング・ウォーキングコースの拠点
- 居酒屋、駐車場整備と農産物直販店の新設

【問10】夜明駅周辺を今後どのように整備したら良いと考えますか？（計 115） 回答が多かった意見ベスト5

- ① 道路(国道や駅への進入道路)を広くする (13)
- ② 駐車場の整備(今よりも駐車スペースを広くする) (11)
- ③ 桜やモミジの木を植える、花いっぱいにする (10)
- ④ 「夜明」のネーミングや「夜明の鐘」をPRし観光スポットにする (8)
- ⑤ 交通(バス、列車)の利便性を良くする (7)

【その他の意見（一部抜粋）】

- 駅への進入道路を整地(現在ぼこぼこ状態)
- 道路脇の竹林や木の整備(道路に覆いかぶさり危険)
- 駅の表側から裏側へ行けるよう歩行者踏切を作る
- 鉄道ファンの休憩所・写真展示場を作る
- 鉄道ファン宿泊のための民宿や旅館を作る

【お問い合わせ】大肥の郷まちづくり会議事務局(日田市まちづくり推進課) 電話: 2 2 - 8 3 5 6 メール: machidukuri@city.hita.oita.jp

「大肥の郷まちづくり会議」×「おとな先生」とのコラボレーション企画

## 「みんなで地域の復興デザインを考える～まちをデザインしてみよう～」

- 開催日時 【第1回目】令和3年11月5日(金)【第2回目】11月11日(木) 2日間にかけて行いました
- 開催場所 大明中学校体育館
- 参加者 大肥の郷まちづくり会議メンバー、大明中学校1年生～3年生57名の生徒の皆さん、NINAU(ニナウ)
- 内容 **現在、大鶴・夜明地区の復興デザインについて協議を重ねている「大肥の郷まちづくり会議」のメンバーが「おとな先生」となり、大明中学校の生徒の皆さんとともに、今後の地域のあり方、自分たちのまちがこうあってほしい、などといったことを話し合いながら、一緒になって、復興デザインのアイデアを考えました**

※「おとな先生」とは？

「おとな先生」は市の事業で、日田市で働くおとなが学校の授業の中で【自分の仕事について】こどもたちに話をする企画です。こどもの頃から仕事について知り、将来の進路や仕事について自分で考えられるこどもを地域と企業で育てていこうという取り組みです。一般社団法人NINAU(ニナウ)が市から事業を受託して実施しています。

大肥の郷まちづくり会議では、令和3年11月5日、11日の2日間にかけて、「大肥の郷まちづくり会議」×「おとな先生」のコラボレーション企画として、大明中学校全校生徒の皆さんと大鶴・夜明地区のまちづくりに関する意見交換会(グループワーク)を行いました。今号では、その内容をお伝えします。

### 「第1回目」 11月5日(金)

### ★大肥の郷まちづくり会議メンバー自己紹介



- 「大肥の郷まちづくり会議」は、現在、JR日田彦山線の線路跡地が今後どうなるのか、また、地域の人が集まる場の中心となる大鶴駅や今山駅、夜明駅を今後どのように活用していくのかについて話し合っています。これからは、線路跡地や駅以外のことについても話し合いを進めていく予定です。
- わたしたちは、この「おとな先生」をきっかけに大明中学校の皆さんにも大鶴・夜明地区の未来について、これから一緒に考えてもらいたいと思っています。
- この地域の未来を担う皆さんから、大人たちでは考えつかないようなこと、面白いこと、何でも良いので教えていただきたいと思っています！



「大肥の郷まちづくり会議」  
梶原孝俊会長

### ★市まちづくり推進課から「日田彦山線の歴史、大鶴・夜明地区の資源」を説明



市まちづくり推進課 小関課長が説明

### ★大肥の郷まちづくり会議メンバーと大明中生徒によるトークセッション



今までこういう地域のことを考える場がなかったので、今日をきっかけに色々考えていきたいです！

地域おこし協力隊の宮崎です。大鶴はまだ知らないことが多いので、皆さんから色々教えてもらって、大鶴を良くしていくためにみなさんと一緒に考えていきたいです。よろしくお願いします！



裏面は「第2回目(11/11)」の内容です→

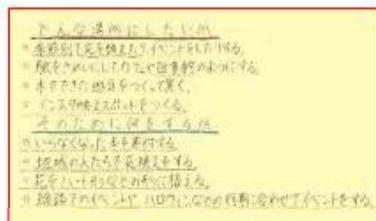
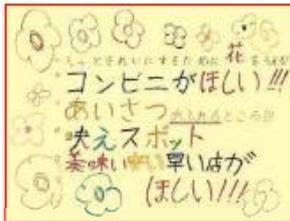
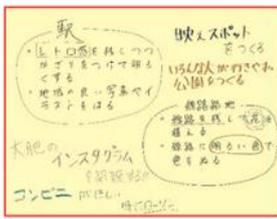
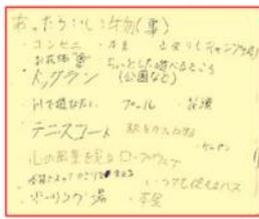
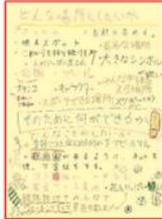
## 「第2回目」11月11日(木)

大明中学校全校生徒の皆さんと大鶴・夜明地区のまちづくりに関する意見交換会(グループワーク)第2回目では、生徒の皆さんが3~4人のグループ(計14グループ)に分かれて、地域のまちづくりについて考え、グループごとに発表を行いました。

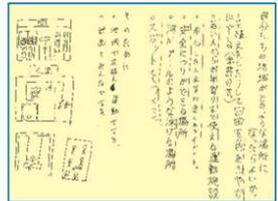
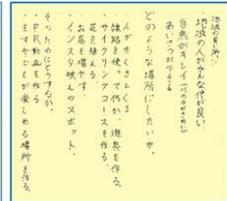
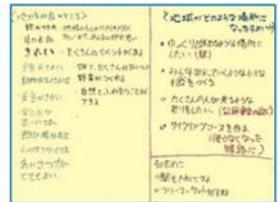
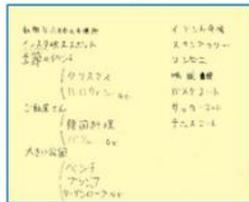
### ★地域のまちづくりについて中学生の皆さんが考えたテーマ

①地域の良いところは？ ②どのような場所にしたい？ ③そのためにどうするか？

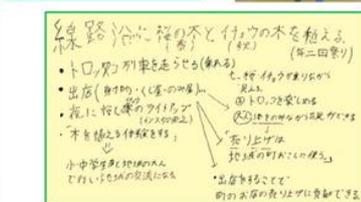
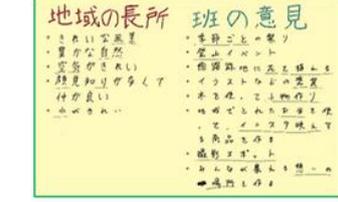
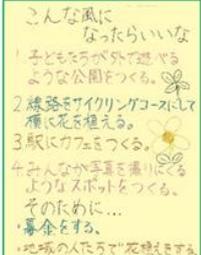
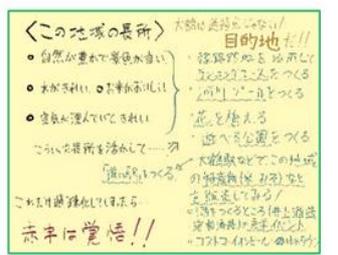
### 1年生 (5グループ)



### 2年生 (5グループ)



### 3年生 (4グループ)



### ★発表ではいろいろな意見がありました★ ①地域の良いところは？ ②どのような場所にしたい？ ③そのためにどうするか？

- ① ●水がきれい ●自然が豊か ●空気がきれい ●地域の人達の仲が良い ●あいさつができる
- ② ●インスタ映え(撮影)スポットがほしい! ●コンビニがほしい! ●河川プールがほしい ●線路跡地をサイクリング・ランニングコースにしたい! ●線路跡地に花を植えたい! ●駅にカフェがほしい! ●公園がほしい! ●トロッコ列車を走らせたい!
- ③ ●地域のPR動画を作る ●ネットで宣伝する ●リ-マーケットなどで出店 ●募金する ●地域で花植え運動をする ●駅をきれいにする ●線路でイベントをする ●計画を皆で作る

【お問い合わせ】大肥の郷まちづくり会議事務局(日田市まちづくり推進課) 電話: 22-8356 メール: machidukuri@city.hita.oita.jp

★大肥の郷まちづくり会議とは…？

令和3年2月、大鶴・夜明地区のこれからのまちづくりを考える「大肥の郷まちづくり会議」が設立されました。会議では、大鶴・夜明地区の振興協議会や自治会長、集落支援員、地域おこし協力隊員などがメンバーとなり、地域の暮らしを守り、人が元気になるためのまちづくりについて、現在、話し合いを行っています。

「大肥の郷まちづくり会議通信」では、会議の内容や地域内で新しく始まる取組などを随時お知らせしていきます。

★まちづくり会議第5回委員会を開催しました

令和4年5月18日(水)に第5回委員会を開催しました。

今回は昨年度の事業報告やこれからのまちづくり会議の方向性について話し合いました。

今年度は、大鶴・夜明地区のまちづくりについて、将来の目指す姿やそれに向かってどのような取組を行っていくかをまとめた「大肥の郷まちづくり将来ビジョン」を策定していく予定です。今回の委員会では、将来ビジョンの基本理念を「笑顔で過ごせるやさしいまち 大肥の郷」に決定しました。

今後は将来ビジョン(案)をたたき台として、ワーキンググループ会議を開催し、ビジョンの内容やこれからの取組について地域のみなさんと一緒に話し合いを行う予定としています。

※「大肥の郷まちづくり将来ビジョン(案)」は裏面をご覧ください。



★ワーキンググループ会議で一緒に話し合う

メンバーを募集します！

裏面の「大肥の郷まちづくり将来ビジョン(案)」について一緒に話し合いませんか？

ワーキンググループ会議は下記のように大鶴地区と夜明地区に分かれ、さらに3つのテーマごとにグループに分かれて話し合います。

地域資源を見直して、地域の魅力を再発見することや駅舎跡の利活用策、空き家や耕作放棄地のことなど、大鶴・夜明地区のまちづくりについて、いろんな意見を出しながら考えていきましょう。

大鶴・夜明地区にお住まいの方であれば、どなたでも参加可能です。

参加を希望される方は下記の連絡先までご連絡ください。1人でも多くの方のご参加をお待ちしております！

	重点プロジェクト		
	地域の資源を活かした地域振興	日田彦山線沿線の美しい景観を活かした地域振興	安心して暮らせる地域づくり
大鶴	A班	B班	C班
夜明	D班	E班	F班

◎ワーキンググループ会議日程◎

大鶴地区

日時：令和4年6月22日(水)19時～

場所：大鶴振興センター

夜明地区

日時：令和4年6月29日(水)19時～

場所：夜明振興センター

★R4まちづくり会議のメンバーは…？

番号	団体名・職名等	地区等
1	大鶴振興協議会長	大鶴
2	大鶴まちづくり協議会長	大鶴
3	鶴河内町自治会長	大鶴
4	鶴城町自治会長	大鶴
5	上宮町自治会長	大鶴
6	大鶴本町自治会長	大鶴
7	大肥町自治会長	大鶴
8	大肥本町自治会長	大鶴
9	大鶴町自治会長	大鶴
10	大肥町住民	大鶴
11	静修茶室台代表	大鶴
12	地域おこし協力隊経験者	大鶴
13	夜明上町自治会長	夜明
14	夜明中町自治会長	夜明
15	夜明振興協議会長(夜明まちづくり運営委員会会長、夜明関町自治会長)	夜明
16	夜明上町住民	夜明
17	夜明上町住民	夜明
18	夜明中町住民	夜明
19	夜明関町住民	夜明
20	夜明関町住民	夜明
21	大鶴地区集落支援員	大鶴
22	大鶴地区地域おこし協力隊員	大鶴
23	夜明地区集落支援員	夜明
24	大明タクシー有限会社取締役社長	大鶴夜明
25	農事組合法人大肥郷ふるさと農業振興会	大鶴夜明
26	大分県西部振興局	
27	日田市大鶴振興センター長	事務局
28	日田市夜明振興センター長	
29	日田市まちづくり推進課長	

＼お知らせ／

日田彦山線線路跡の工事についてお知らせです。

6月からJR九州が夜明駅～今山駅間の線路跡地のレールと枕木を撤去する工事を行います。

現場周辺では工事車両等に注意してください。

《連絡先》

大肥の郷まちづくり会議事務局(日田市まちづくり推進課) 電話：22-8356 メール：[machidukuri@city.hita.lg.jp](mailto:machidukuri@city.hita.lg.jp)

大鶴振興センター 電話：28-2121

夜明振興センター 電話：27-2121

# 大肥の郷まちづくり将来ビジョン（案）

## 基本理念

### 笑顔で過ごせるやさしいまち 大肥の郷

#### 重点プロジェクト

#### 地域の資源を活かした 地域振興

- ①夜明地区の「三日月山」は、学校の遠足やハイキングなど地域の人人々に親しまれてきた場所であり、展望台からは、由布岳、英彦山等の山々や大鶴夜明地区など美しい景色が楽しめる。また大鶴地区にも日田どんの墓、清溪文庫など史跡があり、それぞれにウォーキングなどで楽しめる場所がある。こういった地域の魅力ある場所を再発見し、新たな地域の魅力づくりを行う。
- ②大鶴・夜明地区は自然が美しいスポットが多くあるため、「映えスポット」を発見し、地域外にPRする。
- ③大鶴・夜明地区の恵まれた豊かな「水」を大切な資源として、活用方法を検討し、新たな魅力づくりにつなげる。
- ④大鶴・夜明地区のおいしい野菜や米といった「食」の資源を、地域の団体や野菜直売所と連携し広くPRしていく。



主な取組（これから話し合いを進めていくこと）

- ①
- ②
- ③
- ④

#### 日田彦山線沿線の美しい景観を 活かした地域振興

- ①JR日田彦山線とともに歴史を刻んできた大鶴駅、今山駅の跡地を活用して、「人が集う拠点」を新たに整備し、地域内の交流を目指す。
- ②大鶴駅と地域の拠点の1つである「野菜工房沙羅」を連携させた活用について検討する。



- ①
- ②

#### 安心して暮らせる 地域づくり

- ①少子高齢化の影響で、地域の人口減少が進んでいる。人口の減少を緩和するための移住施策の取組として、地域に増える空き家の活用について検討を行う。
- ②今後も増加が懸念される耕作放棄地の地域での活用方法の検討を行う。
- ③平成29年九州北部豪雨災害を後世に伝え、防災意識を喚起するきっかけとなる場やものの整備や、災害に備える拠点の整備を検討する。
- ④地域の住民が利用しやすいよう、現在運行している福祉バス、乗合デマンドタクシーのほか、今後開通するBRTも含め各交通手段の活用の仕方の検討を行う。



- ①
- ②
- ③
- ④

★「大肥の郷まちづくり将来ビジョン（案）」をたたき台として、これからワーキング会議で重点プロジェクトの内容や主な取組の部分を話し合っていきます。

★令和4年度第1回ワーキンググループ会議を開催しました！

令和4年6月22日(水)と6月29日(水)に大鶴地区、夜明地区それぞれで大肥の郷まちづくり会議「第1回ワーキンググループ会議」を開催しました。両日ともに地域の方に参加いただき、大鶴・夜明地区のまちづくりについて意見交換を行いました。

今回の会議では、①地域の資源を活かした地域振興 ②日田彦山線の美しい景観を活かした地域振興 ③安心して暮らせる地域づくりの3つのグループに分かれて意見を出し合いました。

今回の通信では、会議の様子や出された意見を紹介していきます。

大鶴地区：6月22日(水) 19時～ 参加者：約40名



《地域の資源を活かした地域振興》のグループでは「地域の資源や魅力を再発見・再確認」について話し合いました。

- ・大肥川の桜並木がとてもきれい
- ・竹本橋から東見寺をみる夕方
- ・地下水(飲み水)がとてもよい
- ・空気も水も美味しい山里のイメージを定着させる
- ・熱い思いがある人、それにこたえる人が必要
- ・川ぞいのウォーキングを楽しむ
- ・星が綺麗
- ・上宮のホタルがきれい
- ・酒造所(角の井、老松)がある
- ・田植、稲刈り体験ができる
- ・米、野菜がおいしい
- ・大蔵大臣 井上準之助生誕地

- ・日田盆地の中でも大鶴は小規模盆地になっている。1日の温度差が大きく、野菜も野草もおいしく育つ。
- ・日田どんの墓、雪舟の池、畔倉山、三日月山、千倉ダム
- ・大鶴の上流 河川が美しい
- ・空き家を何か利用できないのか、空き家の情報も資源
- ・製材所(雇用の場)がある
- ・北九州に近いので人の集客がうまくいきそう
- ・人の温かさ、ふるさとへの思いを持った人が資源



《日田彦山線の美しい景観を活かした地域振興》のグループでは、「大鶴駅舎やその周辺環境の整備」について話し合いました。

- ・ウォーキングコース
- ・大肥川橋梁活用
- ・夜明～大鶴間の線路をさら地にした上で地域に無償貸し
- ・沿線を四季の花で埋める
- ・桜並木
- ・撤去前にレールマウンテンを行いたい
- ・彦山線 サヨナラトロッコ 今山～大鶴
- ・夜明から宝珠山までグリースロー
- ・親子で遊べる広場、遊具の設置
- ・駅舎の民間活用

- ・旧大鶴駅を利用した公園づくり
- ・大鶴駅をキャンプ場にする
- ・土・日曜日にマルシェをひらく
- ・農村環境をのぞむレストランに募集を
- ・駅を集いの場所とする
- ・大鶴駅に車を置いてホテルにする
- ・待合室を憩いの場として又バスの時間待場に
- ・通勤帯以外のバスを駅まで乗り入れる
- ・駅周辺に果物を作り果物狩りをする
- ・さら地を整備(舗装)してマルチ道路(サイクリング、散歩、車いす)
- ・駅を横断して通り抜けるよう道路整備する
- ・大肥川で遊べるところ
- ・線路沿いの除草
- ・ツツジ等の剪定、キンモクセイ、マキノ木の剪定又は除去
- ・木を残し花木を植え広場を作る
- ・瀬部からの周道下を市道にし駅沙羅へ
- ・中島～駅は緑道に(学校周辺)
- ・駅周辺50～100メートルの範囲でモニュメントを設置してほしい



《安心して暮らせる地域づくり》のグループでは、「安心して暮らせる地域にむけて、地域の課題を再確認」について話し合いました。

- ・いつも地区に花がある(防犯)
- ・市内まで遠い(買い物、病院)
- ・道路の幅が狭いので危険
- ・トンネルを掘って欲しい
- ・国道石井石油から角の井迄子供の事故が心配
- ・鳥獣被害対策
- ・市道・県道の安全を(カーブミラー等の設置等)
- ・食料の買い出しが遠い、用品の買物場所がない
- ・買い物難民のための買物代行とかできないか
- ・運転免許証の返納した後、交通の便利が悪い

- ・高齢者が多くなり若者がいない、人口減少
- ・1人暮らしの方のサポート
- ・独居高齢者が多い
- ・地区民があいさつが出来る
- ・河川の草刈り等を地域で行う
- ・綺麗な桜並木はひとりの力ではできない、みんなの力で桜がある
- ・空き地の利用
- ・空き家が増えている
- ・空き家をみんなでリホームをし、モデル的な物件を作ってみる
- ・空き家情報を共有して借りたい人、買いたい人へ伝える
- ・ひたはしり号がここまで来てほしい
- ・空き家の活用について地区内で解体を行う
- ・グリーンツーリズムを強化
- ・子供が高校生になると家族ごと引っ越してしまう
- ・一人暮らしの方が多くなってくると思われるがスマホなど使って日常的なつながりができるといい
- ・地域の危険な場所はないかの確認
- ・大雨の時危ない(子供たち)
- ・災害時に地域の状況がわかるようにして欲しい
- ・代行バスの便が少なすぎる
- ・デマンドタクシーとかもっと気軽に頼めないか?当日でもOKにならないか?
- ・免許の返納をした後(デマンドタクシーなどあるが)自由に出かけられるのか不安
- ・コンビニがほしい

裏面につづきまー

## 夜明地区：6月29日(水) 19時～ 参加者：約15名



《地域の資源を活かした地域振興》のグループでは「地域の資源や魅力を再発見・再確認」について話し合いました。

- ・子供達のあいさつ、大声でしてくれる、子供達の笑顔が可愛い
- ・夜明の人があったかい、やさしい
- ・害獣が多い、鹿、猪が多い、食べよう！
- ・夜明駅の写真スポット
- ・夜明の鐘
- ・集落のまとまりがよい
- ・休耕地にひまわりなどを植える
- ・夜明駅がある、夜明という地名を活かす
- ・夜明駅の桜がきれい

- ・ウォーキングに適した地域である
- ・大肥川沿いの景色が良い
- ・三日月山展望台の見晴らしが良い、八方岳の景色が良い
- ・もやし工場のPR
- ・営農で野菜作り、ももは工房で加工する
- ・地域で野菜の朝市をしよう
- ・夜明中町～夜明閑町の裏道をハイキングにしたら
- ・夜明ダムとポートの風景
- ・大肥川の水がきれい、全体に水がきれい（地下水）
- ・農産物の種類が多い、頂く野菜が美味しい
- ・営農が環境保全とで農道、農地の草刈りを行い、全体に整然としている
- ・山の景色、新緑、桜並木がきれい
- ・行徳家がある
- ・梨畑と花



《日田彦山線の美しい景観を活かした地域振興》のグループでは、「今山駅舎やその周辺環境の整備」について話し合いました。

- ・JRから借りるとしてもそのとき大家のように草刈りしてくれる？
- ・今ボランティア一懸命花、木、草刈りしている。
- ・夜明の水、夜明の湯、夜明の鐘
- ・夜明の地名映える、地名をうまく使う
- ・名勝、旧跡に何かからませて価値付けする（今山駅周辺）
- ・何か美味しいものとか
- ・3つの駅の連携
- ・道の駅うきは、バサロのノウハウほしい

- ・郵便局、ATM移転、寄り付き良い
- ・一部線路残してレールマウンテン
- ・進撃の巨人
- ・人をよぶ記念撮影スポット
- ・里の駅今山、農産物、お弁当、ももは工房
- ・菜の花マラソン
- ・どうしたら人が集まるのか、子どもたちの夢も叶えるような
- ・把木のみまわり
- ・今山川
- ・遊水施設、河川プール（大肥川）
- ・公民館を活用すればよい
- ・トロッコむずかしい、サイクリング・ウォーキング有効
- ・グランピング、夜明BBQ村、ももはみそ作り体験（ももは工房体験エリア）
- ・梨を売れないか、農産物直売所
- ・バサロのように花、田園風景
- ・オープンテラス
- ・月に1日フリーマーケット
- ・サイクリング夜明周遊、骨休めの場が中間の今山に

### （中学生の意見を何らかの形で反映）

- ・中学生の意見を〇万円で見聞させてみる
- ・中学生の意見を反映させたい、実現させたい
- ・今年度も中学生と意見交換していきたい

### （防災対策）

- ・ハザードマップ、レッドゾーン懸念したところも
- ・今山は災害用設備、非常用電源とか
- ・防災設備は公民館近くが有効では。

### （SNS）

- ・SNSで拡散
- ・SNSに動画を挙げる

### （三日月山）

- ・三日月山の登山出発点とする
- ・三日月登山、しっかり管理ができれば
- ・夜明センターから三日月山スタート、今山からでも行ける



《安心して暮らせる地域づくり》のグループでは、「安心して暮らせる地域にむけて、地域の課題を再確認」について話し合いました。

- ・子供が希望持てる地域
- ・他地域の人が町を通ったときに明るい町だなと思えるような
- ・386号線の整備
- ・川崎地区の道路拡幅
- ・年をとっても住み続けたいまちに
- ・思いやりのある町に
- ・要望書に対しての明確な説明
- ・JR下部水路のかく大

- ・交通事故のない町に
- ・歩道の設置
- ・少子高齢化で動ける人数が少ない
- ・医療体制の不備
- ・地域行事がなくなった
- ・車がなくて生活が困難になる
- ・空き家が多い、活用した方がいい
- ・空き家を住めるようにしてほしい
- ・都会から来た人はいいところだと言っており、空き家があり田舎があれば住むのではない
- ・買い物ができる車が来てほしい
- ・若者力がない、若い人が少ない、子供が少ない
- ・公園がない
- ・宅地があればいい
- ・地域の役が負担が大きく若者が残らない

以上のように、両地区ともにたくさんの意見がでました。

なお、第2回のワーキンググループ会議の日程は、大鶴地区を7月22日（金）、夜明地区を7月27日（水）に予定しておりましたが、**新型コロナウイルス感染症が県内で急拡大していることから、日程を延期いたします。**

延期後の日程は改めてお知らせいたしますので、みなさまのご参加をお待ちしております。

【お問い合わせ】大肥の郷まちづくり会議事務局（日田市まちづくり推進課）電話：22-8356 メール：machidukuri@city.hita.oita.jp

★令和4年度 第2回ワーキンググループ会議を開催しました！

令和4年8月24日(水)と8月30日(火)に大鶴地区、夜明地区それぞれで大肥の郷まちづくり会議「第2回ワーキンググループ会議」を開催しました。両日ともに地域の方に参加いただき、大鶴・夜明地区のまちづくりについて意見交換を行いました。  
 今回の会議では、6月のワーキンググループ会議で出した意見をもとに作成した「大肥の郷まちづくり将来ビジョン(案)」をたたき台に3つの重点プロジェクトである《地域の資源を活かした地域振興》《安心して暮らせる地域づくり》《田彦山線の美しい景観を活かした地域振興》について、地域で取り組みたいことや旧駅舎周辺の整備について意見を出し合いました。  
 今回の通信では、「大肥の郷まちづくり将来ビジョン(案)」の一部(3つの重点プロジェクト)を抜粋して紹介いたします！主な取組みの権には第2回ワーキンググループ会議で出した意見を一部掲載しています。  
 ビジョン(案)の重点プロジェクトの内容については随時意見を募集していますので、ご意見があればお寄せください！

Ⅳ 今後の取り組み

重点プロジェクト

① 地域の資源を活かした地域振興

☆ワーキンググループ会議での意見

～地域の良いところ、すきなところ、資源と思うもの～

- ・野菜も野草もおいしく育つ
- ・大肥川の桜並木がとてきれいだ
- ・大蔵大臣 井上準之助の生誕地、行徳家
- ・地下水(飲み水)、井戸水、上宮町の湧水など水が豊かておいしい
- ・通達所が2か所もある
- ・上宮町の強がきれい
- ・日田どんの墓、雷舟の池など史跡が多い
- ・三日月山展望台の見晴らしが良い
- ・ウォーキングに適した地域
- ・夜明駅の写真スポット
- ・星がきれい
- ・人の温かさ
- ・夜明の鐘

・地域の歴史の伝承

・四季を通じた景観の活用

・水や人、魅力的な地域資源の活用

方向性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の資源である「水」の魅力を魅力として、「水」を活かした取組みを展開する。</li> <li>・地域の歴史、雄大な自然・景観を活かした観光や交流、体験等の場を創出する。</li> </ul>
主な取組(現在検討中)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・史跡の歴史がわかるよう説明の看板を立てる</li> <li>・地域の歴史について、メディアへPRを行い情報発信を行う</li> <li>・雄大な自然景観を生かした体験交流ツアー(農業体験など)を組み立てる</li> <li>・四季を通してウォーキング</li> <li>・湧水を通してウォーキングをPRする</li> <li>・地域の昔から伝わるお祭りや次世代へ継承できるよう記録を残す</li> <li>・地域の美しい景観の情報発信を行う</li> </ul>
※第2回ワーキンググループ会議で参加者の皆さんから出た主な意見	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大肥川沿いの桜並木</li> </ul>

重点プロジェクト

② 田彦山線沿線の美しい景観を活かした地域振興

☆ワーキンググループ会議での意見

～旧大鶴駅、旧今山駅周辺をこういふふうに整備したい、活用したい～

- ・駅を基の場所とする
- ・旧大鶴駅を利用した公園づくり
- ・親子で遊べる広場
- ・沿線を四季の花で埋める
- ・土、日曜日にマルシェをひらく
- ・水を流し花木を植え広場を作る
- ・駅舎の民間活用
- ・防犯設備、今山公民館付近
- ・駅周辺に果物を作り果物狩りをする
- ・夜明BBO村、ももはみそ作り体験
- ・中学生の意見を反映させたい、実現させたい
- ・駅周辺にモニュメント設置

・沿線の美しい景観を後世へつなぐ

・人が集まる憩いの拠点づくり

・BRTの利用促進

方向性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域とともに歩んできた田彦山線の記憶を受け継いでいくとともに、地域の方の集う拠点となるよう整備、維持する。</li> <li>・BRTが運行する沿線において、人が集まる拠点を整備することで地域の交流の活性化をはかる。</li> </ul>
主な取組(現在検討中)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・旧大鶴駅及び旧今山駅周辺を地域の交流拠点及び災害の記憶を次世代につなぐためのメモリアルパークとして整備する。</li> <li>・夜明駅川崎路切間の土地については、整地を行い、ホームへの入口としてスロープを設置する(旧九州が実施)。</li> <li>・夜明駅利用者のため、2番ホーム側に駐輪場の設置を行う。</li> </ul>
※第2回ワーキンググループ会議で参加者の皆さんから出た主な意見	



**重点プロジェクト**

**③安心して暮らせる地域づくり**

☆ワーキンググループ会議での意見

～困っていること、不便なことなど地域の課題～

- ・市内まで遠い（買い物、病院）
- ・山間部の道幅の整備、道路の幅が狭いの危険
- ・鳥獣被害対策
- ・大雨の時危ない（子供たち）
- ・1人暮らしの方のサポート、独居老人
- ・高齢者が多く若者がいない
- ・空き家が多い、もっと活用できたらよい
- ・デマンドタクシーとかももっと気軽に頼めないか？
- ・当日でもOKにならないか？
- ・交通インフラ整備
- ・車がないと生活が困難になる
- ・子供が希望してる地域

- ▶移住定住の促進
- ▶インフラ（交通、道路、水路）の整備
- ▶見守り・助け合いのしくみづくり
- ▶災害の記憶をつなぎ、防災力の強化



<p>方向性</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域は人口減少や高齢化の進展が進んでおり、人口減少を緩和するためには、外から人を呼び込むための移住施策の取組みが必要である。近年地域の空き家は増える傾向にあり、空き家の把握や活用を促し、住みたい人・借りたい人へ情報をつなぐことで、地域への移住者を呼び込むきっかけとする。</li> <li>・高齢化が進むことにより、独居老人の増加や近隣住民とのコミュニケーションが希薄になることなどが懸念されるため、地域で見守り体制の検討等を行う。</li> <li>・安心して暮らしていくために、道路や水路などを整備し地域の安全を確保する。</li> <li>・災害の記憶を後世につなぐことで、防災力の強化を図る。</li> <li>・BRTの開業により新たな交通手段が増えることから、既存の公共交通（デマンドタクシー、福祉バス）と合わせての利用の促進を行う。</li> <li>・移住体験ツアーを実施する</li> <li>・グリーンツーリズムの実施</li> </ul>	<p>主な取組 (現在検討中)</p> <p>※第2回ワーキンググループ会議で参加者の皆さんから出た主な意見</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・病院、買物の移動手段の確保について検討する</li> <li>・独居老人の安否確認の体制づくり、見守り体制の組織づくり</li> <li>・災害は忘れたときにやってくるので、地区ごとに防災訓練をする</li> <li>・災害を風化させないために映像、経験談ボランティアの方々のごい働きなどをまとめて子どもにも語り継ぎたい</li> <li>・確実な避難場所の確認</li> </ul>
---	---



▲第2回ワーキンググループ会議の様子

大肥の郷まちなづくり将来ビジョン(案) (一部) ▶

**★まちづくり会議第6回委員会を開催しました！**

令和4年9月13日(火)に第6回委員会を開催しました。今回は夜明駅、旧今山駅、旧大鶴駅周辺の整備について話し合いしました。JR九州に対し各駅舎の設備の撤去や伐木についての回答しなければならぬことから、これまで《日田彦山線沿線の美しい景観を活かした地域振興》のグループで話し合ってきた案をもとに、委員会の承認を得ました。詳細は別紙をご覧ください。

## 7.アンケート結果(抜粋)

大鶴・夜明地区内に居住する住民から多くの意見をいただき、これからのまちづくりの参考とするため、令和3年10月、地区内の全世帯を対象に「まちづくりに関するアンケート」を実施しました。

◇実施期間：令和3年10月1日～31日（広報ひた10月1日号に同封してアンケートを配布）

◇調査対象：大鶴・夜明地区全世帯 大鶴526世帯 夜明322世帯 計848世帯

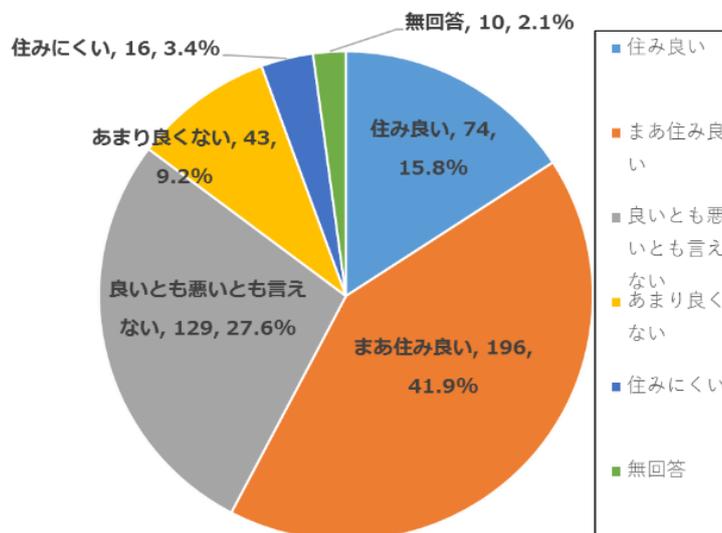
※世帯数はR3.10.1現在。

◇回収率：55.2%（配布数848 回収数468）

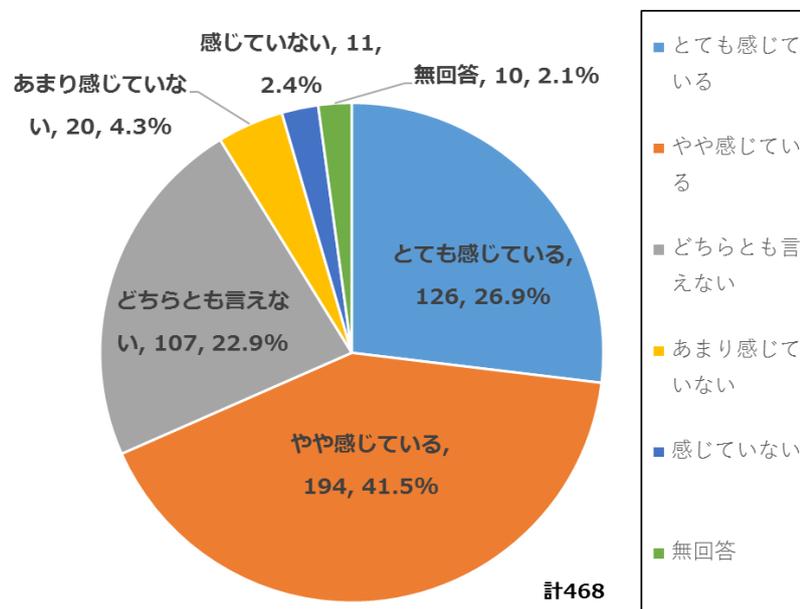
◇回収率（地区別）：大鶴53.8%（配布数526 回収数283）

夜明57.5%（配布数322 回収数185）

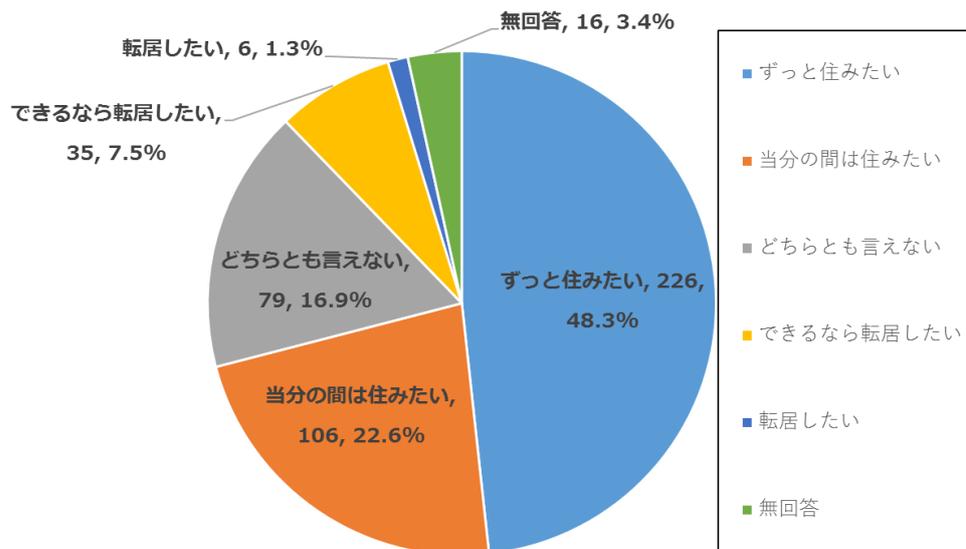
### Q. お住いの地域を住みよいと考えていますか？



### Q. お住いの地域に愛着を感じていますか？



Q. 今後も今お住まいの地域に住み続けたいと思いますか？



Q. 生活するうえで、不安に感じていること、困っていることを教えてください。(上位意見)

- ①車の運転ができなくなったときのこと (232)
- ②健康に関すること (167)
- ③農地・山林の維持管理のこと (135)
- ④介護に関すること (127)
- ⑤一人暮らしになったときのこと (126)

Q. 地域・集落内であなたが誇りに思っているものはなんですか？(上位意見)

- ①景観・自然環境 (177)
- ②地域内に暮らす人々 (87)
- ③地域の助け合いなどの社会関係 (84)
- ④地域内に誇りと思うものはない (67)
- ⑤特産物 (農産物・林産物・加工品等) (32)

Q. 大鶴・夜明地区を将来どんな地域にしたいですか？(上位意見)

- ①若い人(子、孫)が帰って来れる住みやすい地域 (32)
- ②高齢になっても安心して暮らせる地域 (28)
- ③若者、高齢者、移住者など地域みんなで協力して助け合える地域 (25)
- ④交通の便が良い地域 (15)
- ⑤企業(工場等)を誘致して働く場所を作る／人口減少に歯止めがかかる地域 (9)

Q. 大鶴駅周辺を今後どのように整備したら良いと考えますか？（上位意見）

---

- ①公園、広場（27）
- ②休憩所（トイレ）、憩いの場（たまり場）（20）
- ③カフェ、喫茶店（13）
- ④コンビニ／展示館、資料館、メモリアルモニュメント（10）
- ⑤道の駅（特産物広場）／イベント（お祭り、出店、催し）ができる場所／交通（道路）の利便性を良くする（7）

Q. 今山駅周辺を今後どのように整備したら良いと考えますか？（上位意見）

---

- ①公園、広場（16）
- ②交通（道路）の利便性を良くする（8）
- ③休憩所（トイレ）、憩いの場（たまり場）（7）
- ④桜やモミジの木を植える、花いっぱいにする（6）
- ⑤展示館、資料館、メモリアルモニュメント／イベント（お祭り、出店、催し）ができる場所（3）



笑顔ですごせる

やさしいまちへ

